

2018 年度

点検・評価報告書  
－アセスメント結果の概要－

法学研究科

I. 教育活動

（記載内容例）1. 入学者選抜、2. 学位授与・卒業生進路、3. カリキュラム改訂、4. シラバスの活用  
充実、5. オープンキャンパス、6. 教員スタッフの充実

（1）取り組み状況

1. 入学者選抜:2018 年度入学者状況

入学者数 7 名

2. 学位授与・卒業生進路

修士（法学） 4 名

税理士・企業就職

3. カリキュラム改訂

(1) 博士前期課程

博士前期課程の新任教員に伴う科目の新設 「刑法特論」

博士前期課程の退職教員に伴う科目の削除 「ジェンダー論」「政治学史特論」「政治史特論」「近代政治学史特論」「不動産法特論」

不開講科目の科目削除 「知的財産法特論」

(2) 博士後期課程

博士後期課程の新任教員に伴う科目の新設 「政治学特殊研究指導 I～VI」

博士後期課程の退職教員に伴う科目の削除 「政治学史特殊研究指導 I～VI」「家族法特殊研究指導 I～VI」

コースワーク導入に伴う科目の新設 「刑事訴訟法特殊研究」「民法特殊研究」「憲法特殊研究」「企業法特殊研究」「商法特殊研究」「行政法特殊研究」「アジア法特殊研究」「法史学特殊研究」「民事訴訟法特殊研究」「政治学特殊研究」

4. シラバスの充実

シラバスの内容を充実するようコンセンサスをとった。

5. オープンキャンパス

特に実施していない。

(2) 効果が上がった事項

今後効果が期待できる事項であり、現時点の効果はまだ上がっていない。

(3) 改善すべき事項

○入学者数を増加させるために何らかの努力をすべきである。

○特に、法学部 4 年生の進路の一つとして、ゼミの先生方に紹介していただく。

## II. 研究活動

(記載内容例) 1. 競争的研究資金獲得状況、2. 研究発表状況、3. 国内外の学術賞の受賞状況、4. 研究交流

### (1) 取り組み状況

#### 1. 競争的研究資金獲得状況

競争的研究資金の獲得状況は、0人である。

#### 2. 研究発表状況

特に研究発表会等を行っていない。

#### 3. 国内外の学術賞の受賞状況

特になし。

#### 4. 研究交流

他大学との研究交流は特に行っていない。

### (2) 効果が上がった事項

特になし。

### (3) 改善すべき事項

研究活動を活発化するために、法学部、法科大学院と共同して研究活動や研究発表会などを行う。

## III. 国際化への対応

(記載内容例) 1. 留学生の受け入れ状況、2. 留学生に対する教育・生活指導の体制、3. 在学生の海外留学の方針と状況、4. 教員の在外研究の方針と状況、5. 海外研究者の招聘状況

### (1) 取り組み状況

#### 1. 留学生の受入状況

平成30年度は、A氏(韓国)とB氏(中華人民共和国)の2名が入学した。

A氏は、韓国の国家公務員であり、日本の環境法の勉強を希望し、B氏は、政治学を選考し、日本における共産主義がどのように受容されてきたかを研究する予定である。

#### 2. 留学生に対する教育・生活指導の体制

法学研究科では日本語による指導を行っており、外国語での指導はしていない。

一部、ハングルや中国語の出来る先生方もいて、その先生方はハングルや中国語で指導している。

#### 3. 在学生の海外留学の方針と状況

在学生の海外留学は推奨しているが、在学生が海外留学をした例はない。

#### 4. 教員の在外研究の方針と状況

教員の在外研究も推奨されているが、在外研究の例はない。

#### 5. 海外研究者の招聘状況

海外の研究者で、本学に招聘された先生がいた場合は、講義を担当していただいたことがあるが、平成 30 年度はなかった。

(2) 効果が上がった事項、  
特になし。

#### (3) 改善すべき事項

学生や教員の海外留学や在外研究を推奨することになっている。

### IV. その他

#### (1) 取り組み状況

特になし。